

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学研究科
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 前期課程エキスパートコースの4つのプログラム（法律実務・公共政策・国際関係・自由研究）および2010年度より導入するビジネス法務の教育体制を点検・充実する。	→ 「各プログラム開講科目に関するアンケート調査の実施（教員・学生対象）」 「学生の履修状況（他研究科・他大学履修を含む）と新規開講必要科目についての拡大大学院問題検討委員会における定期的検討」 「複数プログラム共通科目導入の是非についての検討（2010年度）」 「各年度における検討の進捗状況についての研究会委員長への報告」	B
2. 前期課程の教育目標と教育研究組織との適合性を年度ごとに検証する。	→ 「前期課程の教育目標と5プログラム制との適合性を検証するための拡大大学院問題検討委員会の定期的開催」 「プログラム間の教育実施体制を調整するためのプログラム調整委員会設置の是非についての検討（2010年度）」 「各年度における検討状況と改善結果についての研究科委員会への報告」	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

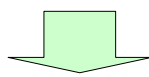
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 2010年度より実施される5プログラム化に際して、各プログラム提供科目（コア科目・選択的コア科目）を拡大大学院問題検討委員会および研究科委員会において点検・確定し、学則および内規を改正した。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 2010年度より実施される5プログラム化に際して、前期課程の担当体制を拡大大学院問題検討委員会および研究科委員会において再検討し、5プログラムの指導教員体制を確定した。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	従来の4プログラムに加えて新設のビジネス法務プログラムにも2010年度に1名の入学者があり、5プログラム化の目的は一応達成された。
★小項目4.0.2	2010年度について、税法を新任の専任教員と継続の客員教員との実質2名体制とし、2009年度入学生に対する修論指導の継続性を保障した。
その他	



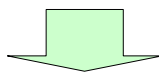
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】
○5プログラムの指導教員体制が確定しましたが、本年度以降の検証が期待されます。

【学内委員】
○エキスパートコースに、第5のプログラムを追加し、コースの充実に向かって順調に進展しています。今後、年次の進行に従って、目標の達成によるアウトカムの評価を行うことを期待します。
○順調に進捗していると判断されますが、「効果が上がっている事項」または「改善すべき事項」のいずれかに記述があった方が望ましいと思われまます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★2010年度は、従来の年2回の法学研究科入試説明会（上ヶ原キャンパス）に加えて、大阪梅田キャンパスにおいても入試説明会を開催することで、社会人・他大学生等への便宜を図ることとした。今後、その効果を検証しながら適切な広報活動の拡大を図るつもりである。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

--	--

<個別的な指標>

--	--